

	講演集	長崎医誌 (2008年)	文献 番号
特別講演			
幹細胞の動態からみた放射線発がんリスク 丹羽 太貴	1~2	87:155-156	2250
シンポジウム			
1 原爆被爆者の放射線による健康後影響 小笹 晃太郎	3~6	87:157-160	2251
2 チェルノブイリ原子力発電所事故後における住民検診とその課題 高村 昇	7~10	87:161-164	2252
3 福島原発事故と県民健康管理調査事業 山下 俊一・安村 誠司・鈴木 眞一・細矢 光亮・藤森 敬也 大津留 晶・坂井 晃・神谷 研二・阿部 正文	11~15	87:165-169	2253
一般演題			
1. 多段階発癌仮説に基づく放射線発癌危険度の曝露・時間依存性に関する数理的考察 大瀧 慈・富田 哲治・大谷 敬子・原 憲行・松葉 潤治 佐藤 裕哉・合原 一幸・佐藤 健一	16~21	87:170-175	2254
2. 広島原爆被爆者における直接被曝線量では説明できないリスクの地理分布について 富田 哲治・佐藤 健一・大谷 敬子・佐藤 裕哉・原 憲行 丸山 博文・川上 秀史・田代 聡・星 正治・大瀧 慈	22~26	87:176-180	2255
3. 地理情報システムを用いた被爆証言・新聞記事による黒い雨の降雨の空間的考察 佐藤 裕哉・佐藤 健一・嶋本 浩子・川野 徳幸	27~31	87:181-185	2256
4. 広島原爆被爆者における黒い雨降雨地域の死亡危険度について 佐藤 健一・富田 哲治・大谷 敬子・佐藤 裕哉・原 憲行 丸山 博文・川上 秀史・田代 聡・星 正治・大瀧 慈	32~36	87:186-190	2257
5. 長崎市原爆被爆者の癌罹患率の被曝状況による比較と推移(1970-2007年) 近藤 久義・早田みどり・三根真理子・横田 賢一	37~40	87:191-194	2258
6. 次世代シーケンサーを用いた5-AzacitidineによるDNA脱メチル化と白血病細胞分化の解析 松井 啓隆・金井 昭教・長町安希子・尾崎 佑子・稲葉 俊哉	41~44	87:195-198	2259
7. 構造関連蛋白質による放射線誘発核内フォーカス形成を介した組換え修復の制御機構 時 林・孫 継英・木野村愛子・沖本 聡・田代 聡	45~47	87:199-201	2260
8. 複製後修復機構が放射線損傷応答におよぼす寄与 徐 衍賓・笹谷めぐみ・河合 秀彦・増田 雄司・神谷 研二	48~50	87:202-204	2261
9. Hcpidin-2はマウスにおける放射線被ばくの尿中バイオマーカーである 飯塚 大輔・河合 秀彦・吉岡 進・泉 俊輔 西村まゆみ・島田 義也・鈴木 文男	51~54	87:205-208	2262
10. 骨髄異形成症候群(MDS)におけるポリコム複合体PRC2構成因子EEDの機能欠失型変異 上田 健・真田 昌・松井 啓隆・山崎 憲政・本田善一郎・Lee-Yung Shih 森 啓・稲葉 俊哉・小川 誠司・本田 浩章	55~57	87:209-211	2263
11. 長崎原爆における地形遮蔽 横田 賢一・三根真理子・近藤 久義・柴田 義貞	58~61	87:212-215	2264
12. 平成23年度における被爆者大腸癌—広島原爆健康管理・増進センターにおける症例— 川西 昌弘・平野 雅俊・山下 政代・石田 啓・井上 典子 加藤 博也・内藤久美子・吉良さくらこ・藤原佐枝子・佐々木英夫	62~65	87:216-219	2265
13. 被爆者乳がん検診6年の成績 石田 啓・山下 政代・平野 雅俊・井上 典子・加藤 博也 内藤久美子・吉良さくらこ・前田 亮・藤原佐枝子・佐々木英夫	66~66	87:220-220	2266

14. 放射性セシウム健康影響を巡る議論について 柴田 義貞	67~70	87 : 221-224	2267
15. 新規開発生体モニタリングシステムM-B I Tを用いた福島県内作業者の健康管理への介入に関する研究 吉田 浩二・中島香菜美・東郷 道太・片山 宗哲・林田 直美・高村 昇	71~74	87 : 225-228	2268
16. 7q-AML/MD Sの責任遺伝子候補 Samd9L のマウスモデルを用いた解析 長町安希子・松井 啓隆・尾崎 佑子・山崎 憲政 小田 秀明・稲葉 俊哉・本田 浩章	75~78	87 : 229-232	2269
17. ノックアウトマウスを用いた白血病発症における核内因子C I Z 1の機能解析 西部 莉央・上田 健・本田 浩章	79~80	87 : 233-234	2270
18. ゲノム安定性を司る紡錘体チェックポイント因子B U B R 1の間期中心体における機能 宮本 達雄・細羽 康介・落合 博・松浦 伸也	81~84	87 : 235-238	2271
19. 低線量放射線被ばくによるDNA損傷の誘導と排除 鈴木 正敏・鈴木 啓司・山下 俊一	85~88	87 : 239-242	2272
20. 慢性的な γ 線照射に対する細胞応答の先端技術を用いた解析 曹 麗麗・河合 秀彦・飯塚 大輔・松井 啓隆・金井 昭教 稲葉 俊哉・笹谷めぐみ・神谷 研二・鈴木 文男	89~92	87 : 243-246	2273
21. 広島原爆被爆者の子供における白血病発生について 鎌田 七男・大瀧 慈・田代 聡・星 正治・三原圭一朗・木村 昭郎	93~96	87 : 247-250	2274
22. 被爆二世同胞白血病の考察 高木 信彦	97~100	87 : 251-254	2275
23. 原爆体験者等健康意識調査における面接調査データの再解析について 佐藤 健一	101~106	87 : 255-260	2276
24. 広島入市被爆者の死亡リスクに関する統計解析 大谷 敬子・富田 哲治・佐藤 健一・佐藤 裕哉・原 憲行 丸山 博文・川上 秀史・田代 聡・星 正治・大瀧 慈	107~110	87 : 261-264	2277
25. 原爆放射線のヒト免疫応答に及ぼす影響. 第26報 : 末梢血リンパ球における Th1 および Th2 細胞の割合の被ばく線量依存性増加 楠 洋一郎・吉田 健吾・久保 美子・山岡 美佳・梶村 順子・林 奉権 中島 栄二・大石 和佳・藤原佐枝子・箱田 雅之・赤星 正純	111~114	87 : 265-268	2278
26. ラット甲状腺濾胞上皮のDNA損傷応答と放射線誘導オートファジーに対する年齢の影響 松山 睦美・七條 和子・蔵重 智美・三浦 史郎 ムサジャノワ ジャンナ・中島 正洋	115~118	87 : 269-272	2279
27. Patterns of FOXE1 expression in papillary thyroid carcinoma by immunohistochemistry Andrey Bychkov・Vladimir Saenko・Tatiana Rogounovitch・Masahiro Nakashima Norisato Mitsutake・Shunichi Yamashita	119~122	87 : 273-276	2280
28. ベラルーシ共和国における土壌、および食品中の放射性核種分析 土屋 りみ・平良 文亨・高橋 純平・Alexander Kozlovsky 林田 直美・高村 昇	123~125	87 : 277-279	2281
29. セミパラチンスク地区住民の核実験に起因する認識構造 平林今日子・佐藤 健一・大瀧 慈・Talgat Muldagaliev Kazbek Apsalikov・川野 徳幸	126~131	87 : 280-285	2282
30. 原子爆弾被爆者レシピエントに対する被爆二世をドナーとした生体肝移植の経験 曾山 明彦・高槻 光寿・北里 周・足立 智彦・山口 泉・田中 貴之 木下 綾華・三島 壯大・伊藤信一郎・林田 直美・山之内孝彰・藤田 文彦 金高 賢悟・南 恵樹・黒木 保・市川 辰樹・中尾 一彦・江口 晋	132~134	87 : 286-288	2283